

- ◆年金カット法案強行に抗議する
- ◆組織拡大チラシ
- ◆戦争させない! 11・19 長野集会
- ◆キンボール大会
- ◆加盟組合紹介(長野地域民医労)

# 年金カット法案

## 国民の命を削る法案強行に抗議

◆安倍政権は今国会を延長して、TPP法案、年金カット法案を強行しようとしています。トランプ次期米大統領が「TPP離脱」を明言してもなお、成立をねらう異常な姿勢です。

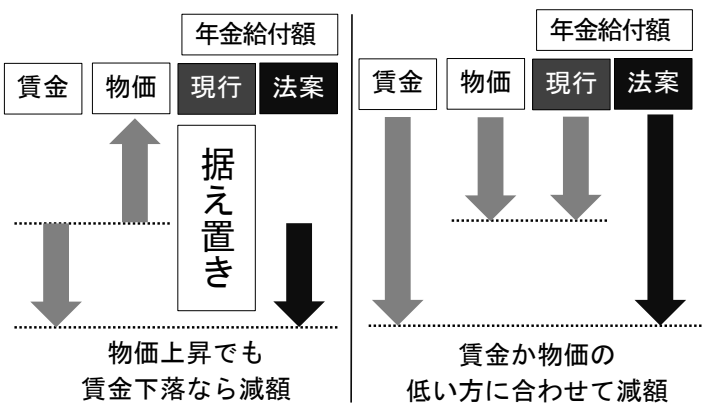
◆「年金カット法案」は11月25日、委員長職権を乱発し、自民、公明、維新によって衆議院厚生労働委員会で強行されました。その中味は、国民の財産を将来にわたって削り続ける許しがたい法案です。(右は、東京新聞2016/10/14に掲載された図)

◆自民党は「年金改革法案に関するQ&A」で、「世代間の公平を確保し、若い世代の年金水準を

確保します」などと説明しますが、その中味は、受給世代のみならず、若い世代の年金を徹底して引き下げようとするものです。

◆国会は延長せず、廃案にすべきです。

### 政府がめざす年金の新ルール



TPP法案も、年金カット法案も、国会を延長せず廃案にすべきです。

「あなただけ、仲間と一緒につくっていきましょう。」

「組合があるじゃん!」

裏面: 組合からのメッセージや活動の紹介もお読みください。

NAGANO ROREN  
「困ったなあ...」そんな時は、組合に相談してください!  
長野地区労働組合総連合

た。「組合があるじゃん!」の声を広げましょう。組織拡大チラシ(左参照)を加盟組合に配布しまし

戦争させない! 11・19 長野集会

80人超で集会・デモ (写真下参照)



# ボール追っかけ団結

## 青年のとりくみ実委主催 キンボール大会開催

11月19日(土)、北部勤労青少年ホームで、青年のとりくみ「キンボール大会」(写真右・下参照)を開催しました。11月と肌寒い中ではありましたが、参加者25人で体育館の中を走り回り、普段ではかけない汗をかいて楽しみました。

去年は『ソフトバレーボール』を行いました、今年は経験に差が出ないよう誰でも平等に楽しめるスポーツということで、『キンボール』が復活しました。

ボールの大きさ・跳ね具合に驚かされながら、最初にルールの確認をし、慣れない中手探りで試合が始まりました。少しずつ慣れてくると、ボールを誰もいない所へ打ったり、点数も僅差であったりと、白熱した試合が続ぎ、始めて顔を合わせるチームの中で協力し作戦を立てて、楽しむことが出来ました。



その後、鮪レストラン大政で交流会を行いました。参加者15人で、毎年恒例となった豪華な寿司をかけたクイズ大会も、チーム対抗で答えを出し合い、優勝チームにはトロが振る舞われました。お酒を飲みながら、職場での悩みなどを話し、自分たちの仕事の垣根を越えて交流が出来ました。

来年に向けて幹事会でも話し合い、また青年の皆さんで盛り上がるような楽しい企画を考えていきたいと思っています。

青年のとりくみ実行委員会 事務局  
長野労連青年部 事務局長  
山崎勇治(全医労東長野病院支部)



## 加盟組合紹介

### 長野地域民医連労働組合

★医療介護現場の実態を声に出して、団結

長野地域民医労は、医療・介護・在宅分野で働く労働者約90名の組合です。安全安心の医療・介護の実現のために労働環境の改善、「白衣を戦場の血で汚さない」を合言葉に平和の取り組みなど上部団体でもある医労連に結集し、また長野労連と一緒に活動をしています。

医療・介護現場は診療報酬・介護報酬で収益が決まります。政府は社会保障費を削るために年々その報酬を下げ、病院・診療所、介護施設等はその影響を大きく受けています。

高齢者が増加し、介助の必要な患者・利用者さんが増えています。特に夜勤帯は、少数の職員配置のため、人出不足は深刻です。また、時間通りに仕事は終わらず、夜勤もあるため、疲労は蓄積され労働者は健康不安を抱えながら仕事をしている状態です。

毎年「大幅増員と夜勤改善のための国会請願署名」に取り組んでいます。秋の統一行動では長野駅、権堂駅前で署名行動を行いました。病院や介護施設利用者が「是非人を増やして」と率先して書いてくれました。医療介護現場の状況を声に出して団結して頑張っていこうと思います。

副執行委員長 藤本二三子